

ファシリテーションとグラフィック

開講日：平成 24 年 2 月 5 日（日）

場 所：名古屋都市センター ホール

時 間：13 時 00 分～17 時 00 分

参加者：17 名

名古屋都市センターの講座修了生で、まちづくりびとの登録をしている方、名古屋市内を中心に地域でまちづくり活動を行っている方等が参加



平成 23 年度		ステップアップ編
地域の「まちづくりびと」養成講座		
～ファシリテーションとグラフィック～		
日時：平成 24 年 2 月 5 日（日）		
13:00～17:00		
1.	13:00	開講
2.	13:05	アイスブレイク
3.	13:35	ファシリテータ派遣 「体験談」
4.	14:05	休憩
5.	14:20	ファシリテータ & ファシリテーショングラフィック 体験
6.	16:50	おわりに。
17:30～懇親会（自由参加 長巻川）		

これまでのステップアップ講座では、「会議ファシリテーターの心得」「都市計画のイロハ、まちの見方」「ファシリテーション・グラフィック」「都市計画マスタープランの地域まちづくり」についてふれてきました。

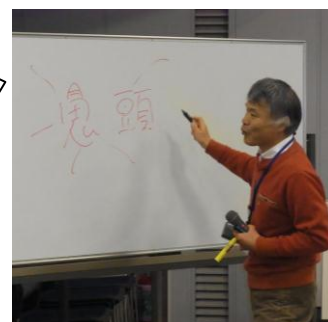
今回の講座では、その中で要望が高かった「ファシリテーションとグラフィック」を引き続き学びました。これまでに「まちづくりファシリテーター」として派遣された“まちづくりびと”の体験談も聞いてもらいました。

開講・アイスブレイク

開講にあたって、都市センター調査課長より、趣旨などの挨拶がありました。

本日は、参加いただきありがとうございます。講座のテーマである「ファシリテーションとグラフィック」のテクニックが少しでも身に着いてくると、地域での話し合いや会議等が見える化でき、話が広がっていくと思います。今日の講座は、みなさんにそうしたテクニックを体験してもらいながら、楽しく取り組んでもらいたいと思います。

※先日、節分があり、私の身内が鬼役になり豆をまかれる様子を、私の苗字（鬼頭）とかけまして、ファシリテーション・グラフィックしてみました。



アイスブレイクは、“まちづくりびと”の真弓さんにも協力してもらい、「ハイ・イハ（ほぐし系、ペアが向い合せになり、手のひらを重ねて、進行の合図とともに手のひらを上下交代していく）」、「自分を動物に例えると？（自己紹介系、ペアになり、自分を動物に例えると何か？紹介する）」を行いました。初対面同士の方々もいましたが、少し体と頭を使いながら、緊張がほぐれてきたようです。是非、みなさんにも機会を見つけて、アイスブレイクを試してもらいたいです。



“まちづくりびと”
真弓さん



今日の意気込みを
チェック



アイスブレイク
(ハイ・イハ)



アイスブレイク
(自分を動物に例えると?)

まちづくりファシリテーター派遣 体験談

平成22年度から、“まちづくりびと”の方が、色々なワークショップに「まちづくりファシリテーター」として派遣されています。ここでは、実際にファシリテーターとして参加された方の体験談を聞いていただきました。



枇榔さん



三田さん



千葉さん



林さん
司会もして
いただきました



河合さん



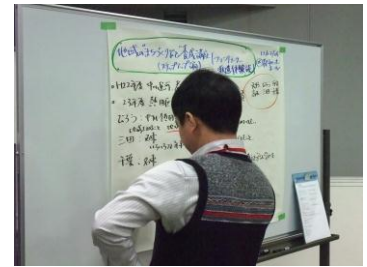
高木さん



天野さん

体験談としては、こんな話が聞けました。

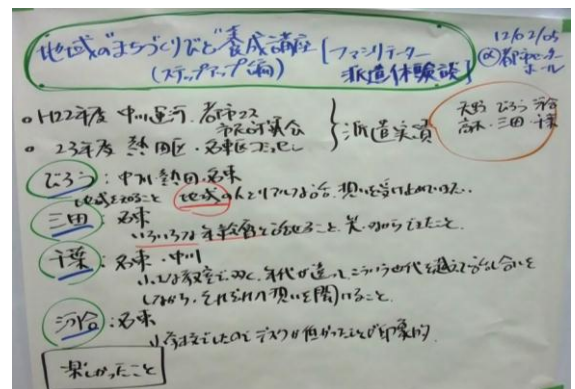
- ・地域を知り、地域の人と話し、思いを受け止めることができた
- ・年代、世代が違う人と率直に話ができ、笑うことができた
- ・話が盛り上がらない、どうやって意見を調整していくか等、悩んだことも多かった
- ・グループに1人、その分野の専門家(都市計画)がいると、もっと進めやすいと感じた
- ・ワークが始まる前にトイレに行っておけばよかった
- ・あまり話さない人には、特に耳を傾けることが必要だと思った
- ・参加者の方に問いかけることが大切であり、また「なんて問いかけるか」が、参加者の方が発言しやすくし、話し合いを活発にするカギだと思った
- ・「～だと思う」という参加者の意見を一言聞くだけでは相手の考えていることを理解することは難しく、「それって…ということですか?」とか「もう少し詳しく教えてくださいませんか」など質問して、相手の真意を引き出すことが大切だと学びました。



吉村さん
体験談をファシリテーショングラフィック

また、会場から、こんな質問がありました。

- ・特定の人ばかりが話している場合、どうすればよいか?
→多くの方の考えが聞きたいことを説明する(話を回す)
- ・意見が対立した場合はどうすればよいか?
→ワークショップの目的(原点)に立ち返ってみる



ファシリテーション・グラフィック

今日のメインプログラムである「ファシリテーションとグラフィック」は、前回に引き続き、(株)ソーシャル・アクティ代表取締役の林加代子さんに講師をお願いしました。

ミニレクチャーの後に、グループワークで「ファシリテーションとグラフィック」を「ホワイトボード」を使って、体験していくもので、ねらいは以下の3点でした。

1. ファシリテーターの体験を積もう
2. ファシリテーション・グラフィックの練習をしよう
3. お互いのスタイルを見て学び合おう



講師：林 加代子さん
(株)ソーシャル・アクティ代表取締役
県内を中心にまちづくりワークショップのファシリテーター、研修・講座の講師の実績多数。



お題は「ニュースレター」を作ります。まずは、目的とコンセプトを決めます。



ホワイトボードにFGしました。



グループ発表



講師による振り返り

* アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など

アイスブレイクの感想

- ・ 体を動かす系、コミュニケーション系のアイスブレイクをやってもらい、たくさん種類があることがよく分かりました。
- ・ 初心者マークの真弓さん、ういういしい!

今日、得たものをどんな場面で使ってみたいですか？

- ・ チャンスがあれば都度。人が複数集まる場面で。
- ・ 効率的な会議運営。
- ・ 今日ファシリテーターとグラフィック体験をやってみて、自分の改善点・課題点が沢山見つかっ

た。大学生を送る上で役立つ技術だと思うので、ぜひ身につけていきたいと思う。

- ・ 実際の団体の広報作り、パンフレット作りに活かしたいです。
- ・ 実際のボランティア活動、職場の後輩育成。
- ・ まちづくりの活動でイベントの企画に向けてミーティングなどをやっているの、そうした現場で試してみたいと思います。
- ・ アイスブレイクは前回同様、大変参考になりました。老人会でも行います。

今後、どのようなスキルアップを希望しますか？

- ・ (アサーティブ・コミュニケーション) スキル アサーション。
- ・ ファシリテーション。
- ・ 対話術。
- ・ まちづくりの知識を体系的に学習する機会もあるといいかな・・・と思います。
- ・ とにかく回数を重ねて、体験数を増やす事です。
- ・ 段階的に会話をまとめていく力、見やすく書く力、色使いや文字の大きさまで考えられたらいいなと思います。
- ・ 「人に伝える」ワザ。まちづくりについて様々な情報、お勉強しておきたいこと。知っておきたい基礎知識。
- ・ 老人会での会議は、意見がどう巡りになり結論が出ない事が多いのでファシリテーターの役割が大でありFの議事進め方についてスキルアップしたい。
- ・ 都市計画や法律など。これからの時代にFITするように。
- ・ ファシリテーターグラフィックをもっとやりたい。発表を上手にするテクニックを学ぶ。
- ・ 継続的にやってもらうことが大事です。FもFGも・・・ワンランクアップのまちづくりを意識したものもいるでしょう。

全体を通じたご意見・ご感想など

- ・ 何時も楽しく学べるので、今後も時間が合えば参加します。
- ・ 上にも書いたように様々な問題点が見つかる良い機会になったと思う。幅広い年代の方と交流できて楽しかったし、ファシリテーターの方々の指導もいただき、非常にいい経験になった。
- ・ この様な講座が他所で開催している様ですが、行政でまとめ統一的に開いては？
- ・ 私たちのグループの場合、かなり具体的な内容でやりました。実際には他の団体 etc の場合も大いに共通点あると思います。他グループが一般論としての展開だったので、これもまた勉強になりました。
- ・ ファシリテーターをやってみて、きっちり論点を提示しても、それていったり、具体的になり過ぎてしまうことがあるなど。ただ、自由に発言してもらう中からユニークなアイデアが急に核心をつくアイデアが出てきたりして、そのさじ加減が難しいなと思いました。
- ・ 楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ いろんなことを確認でき Step up のあしがかりになりました。ありがとうございました。林さん、吉村さん、河合さん、センターの方の一言一言が大切だった。